

放送教育開発センター パソコン通信・暫定マニュアル

- 通信手順

Tel. 0472-75-4681 (暫定的)

通信方式 調歩同期全二重

ボーレート 300 ボー

データ長 8 ビット

ストップ・ビット 1ビット

パリティチェック 無

パソコンの通信用ソフトを上記の通信手順に合わせておく。音響カプラーは、全二重に設定しておくこと。

- Username

Username は原則として、名の頭文字を姓のローマ字の前に付けている。

例、黒澤明 AKUROSAWA

薬師丸ひろ子 HYAKUSHIMARU

しかし、放送教育開発センターの教職員については、Username は姓のローマ字だけである。

- 最初のアクセス方法

指定の電話番号に掛けると、「ピー」というコンピュータからの発信音がある。発信音が聞こえたら、音響カプラーの指定の通りに受話器を音響カプラーに装着する。しっかりと装着して「リターン(改行)」キーを押すと、次のようなメッセージがCRT(画面)に表示される。

Welcome to MicroVMS V4.1

Username :

このメッセージが出てこない場合は、何度かリターン・キーを押してみる。それでもメッセージが表示されない場合は、通信手順が違っている可能性が強い。

「Username : 」が出たら、そこで登録している自分のユーザーネームを、キーボードから入力する。入力すると次のようなメッセージが送られてくる。

Username : ××××××

Welcome to MicroVMS V4.1

ASCII/KANA(Y) OR KANJI<VT80>(N) ?[Y] :

ここで、そのままリターン・キーを押すと、アルファベットと半角のカタカナが使用できる。放送教育開発センターのシステムでは漢字を使用することができるが、そのためには VT80 ターミナル・モードでなければならない。次いん、以下のようなメッセージが CRT に現れる。

Please enter your PARTICIPATE Password.

Creating a new PARTICIPATE II identity.

Only the first 8 characters will be used.

Password :

ここで、覚えやすく他人にわかりにくいパスワードを自分で決めて、それを入力する。パスワードはアルファベットだけでなく、数字でも有効である。パスワードは、どんなに長くても良いが、コンピュータが識別するのは最初

の8文字である。パスワードは画面に出力されないので、もう一度次のように、パスワードの確認を要求してくる。

Please type it again for confirmation :

もう一度、パスワードを入力する。先程のパスワードと一致すると、PARTICIPATE (略称 PARTI: パーティ) という電子会議システムの中に入る。

パスワードは、コンピュータの管理上非常に重要なものなので、他人に分りにくいものにしなければならないし、パスワードの管理には注意していただきたい。

PARTIに入ると、次のようなメッセージが出てくる。

Welcome to PARTICIPATE II at HOSO KYOIKU KAIHATSU
CENTER, ××××!

PARTICIPATE II Version 1.0

Copyright (c) Participation Systems Inc. (PSI), 1984.

ALL RIGHTS RESERVED

"PARTICIPATE II" is a trademark of PSI.

このメッセージに引続き、PARTIの利用についての注意が英文で出力される。そして最後に、次のようなメッセージが出て止まる。

ACTION ==> (Read)

PARTIを使って、電子メールを行なったり、電子会議を行なうのは、すべて ACTION の所で、コマンド(命令)を打ち込むことによって可能となる。ACTION の右にある括弧の中にでているのは、コンピュータが判断した優先的なコマンドである。そのコマンドで良い場合は、単にリターン・キーを

押すだけでよい。括弧内に示している作業と異なる作業を行なう場合は、括弧の後にコマンドを入力すればよい。

- PARTI のコマンド（大文字でも小文字でも可）

Write（または W）

特定の加入者に電子メールを送る場合。

電子掲示板に掲示を掲げる。

Join（または J）

電子会議への参加。

Help（または H か？）

PARTI 利用説明。

Quit（または Q）

PARTI から抜け出す。QQ と入力すると無条件で抜け出すことができる。

- 電子メール

文章は一行ずつ、適当なところで必ずリターン・キーを押さなければならない。通常のワード・プロセッサのように、自動的に改行はしない。アルファベットならば、一行 72 文字以内で改行したほうがよい。

- 電子掲示板

電子掲示板に入るには、ACTION のところで JOIN “電子掲示板名” を入力する。

現在、用意されている電子掲示板は次の通りである。

“DEC”	PARTI の利用に関する質問
“PRACTICE”	PARTI の利用についての案内
“JET”	日本教育工学学会の電子掲示板

- 入力した文字の訂正

VT100 または VT 80 ターミナル・モードならば、バック・スペース（後退）キーで一文字ずつ、入力した文字を削除できる。

VT 100 または VT 80 ターミナル・モードでない場合は、コントロール・キーを押しながら H のキーを押せば一文字削除できる。一行全部削除したい場合は、コントロール・キーを押しながら X のキーを押すとよい。

- アップロード

- ダウンロード

PARTI の電子メールの文章は、一度引き出すと消えてしまうので、ダウンロード（送ってきたデータをディスクに保存すること）しておいた方がよいであろう。電子掲示板のメッセージは、同じメッセージを何度でも見ることができる。

- 利用についての質問

利用についての質問は、Write コマンドを利用して、Username : HAMA NO に問いあわせていただきたい。

または、JOIN “DEC” が利用に関する電子掲示板なので、そこにメッセージを掲示すれば、日本 DEC 社の PARTI 担当者から直接、回答が寄せられることになっている。

放送教育開発センター

〒260 千葉市若葉二丁目

TEL. 0472-76-1111

担当： 浜 野 保 樹